

令和4年度 学校評価 アンケート結果

R4.1.20

1 実施方法

実施計画に基づき今年度の学校運営について、教職員、保護者、児童生徒、関係機関へのアンケートを令和4年11月24日～12月2日の期間で実施した。アンケートを集計し結果をまとめ、学校評議員から意見をいただき学校関係者評価とする。

今回の結果をもとに、反省会で改善の方策を検討し、協議の上、次年度の運営計画に反映させる。

2 対象者

- (1) アンケート調査 教職員 60名（事務職員、緊急支援員を含む）、保護者 34名、
児童生徒 35名（小学部は適宜聞き取り）、関係機関 13名
- (2) 意見聴取 学校評議員 7名

3 アンケート項目

- (1) 教職員 学校運営計画の重点目標 5項目と、いじめ、体罰、働き方改革等に関する質問 14項目。緊急支援員については自由記述のみ。
- (2) 保護者 教育活動、学校生活、学校との連携、いじめ、体罰等についての質問 13項目。
- (3) 児童生徒 学校生活、学習内容、いじめ等に関する質問 9項目。
- (4) 関係機関 教育活動、学校との連携、いじめ、体罰等についての質問 13項目

4 アンケートのまとめ

- (1) 教職員（60名回答：回収率100%）

肯定的評価（A：そう思う、B：だいたいそう思う）の割合は全体の平均が88%で高い評価である（小学部83%、中学部91%、高等部88%）。高い評価項目は10「関係機関連携」・11「いじめ」・13「安全安心」が100%、6「ICT機器の活用」・8「進路指導」・12「体罰防止」が95%以上であった。

比較的评价が低い項目は、7「キャリア教育」85%、5「授業改善」・14「業務改善」89%であった。

自由記述では、授業改善の取り組み強化、キャリア教育の学部連携、業務の改善、指導方法の共有や連携について等、様々な記載があった。反省点、改善点を次年度の計画に生かしていきたい。

- (2) 保護者（15名回答：回収率44%）

肯定的評価の割合は平均で99%と教職員と同様に高い評価である。1「規則正しい生活と社会性」・2「授業内容」・3「生活習慣の指導」・4「関係機関との連携」・6「進路指導」・7「情報共有」・8「相談しやすさ」・11「いじめ」・12「適切な指導・支援」・13「本校に満足」が100%であった。評価C：あまりそう思わないと記載のあった項目は、5「教員の知識と経験」、「体罰防止」であった。いただいた意見・要望にもとづき改善に努めていく。

- (3) 児童生徒（27名回答：回収77%）

肯定的評価の割合は平均で78%であり、教職員、保護者と比較して低い評価である。学部ごとに比較すると、小学部87%、中学部69%、高等部77%で、小学部で高く中学部・高等部で低めの評価である。

高い評価の項目は、小学部1「きまりを守り挨拶できる」・6「相談しやすさ」・7「いじめ」・8「安全安心」・9「本校で学んでよかった」100%、中学部2「生徒会活動とクラブ活動」・3「授業のわかりやすさ」・7「いじめ」・8「安全・安心」75%である。高等部3「授業のわかりやすさ」・7「いじめ」・8「安全安心」・9「本校で学んでよかった」92%である。どの学部でも「いじめ」・「安全安心」が高い評価を得ている。

低い評価の項目は、小学部4「授業や課題への取り組み」・「将来について」57%、中学部4「授業や課題への取り組み」50%、1「規則正しい生活と社会性」・5「進路学習」・62%、6「相談しやすさ」63%、高等部4「授業や課題への取り組み」50%、2「生徒会活動とクラブ活動」58%である。

自己肯定感の低さがアンケート結果に表れたと思われる。自由記述では、登校が難しい自分の反省、コロナ禍での活動減少、部活動の活発化に関する記載されていた。

- (4) 関係機関（9名回答：回収率69%）

肯定的評価の割合は99%であり、比較的高い評価であった。自由記述では、アンケート取り方についての記載があったので改善していく。